

平成26年度事務事業評価シート		該当事業(評価対象外事業は基本情報のみ記載)		
		一般事務	公共建設事業	評価対象外事業
事務事業名	しおさい公園管理運営事業			
予算科目	8 款 5 項 2 目			
総合計画での位置付け	住環境の整備と生活安全の確保～はつらつ住みよいまちづくり～ 生活環境の整備			
所管課情報	担当課:	都市住宅課	電話番号(内線):	543
記入者情報	所属長:	森下 久史	担当責任者:	小寺 卓也
事業の性格	法定事務			
実施期間	【開始年度】平成 20 年度 【開始年度】設定なし			
事業の対象	市民「しおさい公園内の有料施設(体育館・野球場・テニスコート・競技場)利用者」			
根拠法令等	都市公園法、伊予市公園条例			
事業の目的	だれもが身近にスポーツに親しめる環境づくりを目指して、施設の整備及び維持管理を行なう。			
事業の内容	体育施設の維持管理及び施設の修繕、市民競技場・市民球場の芝生管理等を行なうことにより、適正に施設管理を行なう。			
改善策の 具体的 取り組み (当初)	老朽化した施設の更新を行うため、長寿命化対策支援事業の実施計画を策定する。			
改善策の 具体的 取り組み				

事業費及び財源内訳					
項 目		25年度決算	26年度予算	9月末の執行状況	26年度決算
事業費	直接事業費	70,600	57,504	28,716	57,432
	人件費	3,660	2,386	1,193	2,386
	合計	0	59,890	29,909	59,818
人件費 内訳	人工数	0.45	0.30	0.15	0.30
	人件費単価	8,135	7,954	7,954	7,954
	補助事業人件費	0	0	0	0
	人件費	3,660	2,386	1,193	2,386
財源内訳	国庫支出金	0	0	0	0
	県支出金	0	0	0	0
	地方債	0	0	0	0
	その他	224	284	0	284
	一般財源	74,036	59,606	29,909	59,534

事業活動の実績(活動指標)					
項目	単位	25年度実績	26年度予定	9月末の実績	26年度実績
光熱水費	千円	0	0	0	0
修繕費・工事請負費	千円	3617	2209	0	2476
委託料	千円	66150	54125	27062	54174
有料施設利用者数	人	107594	107594	47263	82879

向こう5年間の直接事業費の推移						
年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	5年間の実績
		62,686	70,000	70,000	60,000	

成果指標				
成果指標	今年度の利用人数÷過去2年間平均利用人数＝成果指標			
指標設定の考え方	スポーツ活動の環境づくりとして、有料施設の利用者数を事業の評価と考え、指標とした。			
区分年度	25年度	26年度	27年度	目標22年度
目 標	1.01	1.01	0	0
実 績	1	0.77	0	0

自己評価				
自己評価 (担当責任者)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	3	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	3	C
		成果向上の可能性	3	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	H26年度から指定管理者が変わり、国体に向けて施設の管理・運営が重要なポイントとなるため、指定管理者との密接な信頼関係を築く。老朽化している市民体育館の改修計画を行い、長寿命化対策支援事業及び他の補助メニューを模索し、施設の更新を実施していく。			

一次評価				
一次評価 (所属長)	妥当性	目的の妥当性	4	B
		市民ニーズへの対応	4	
		市の関与の妥当性	3	
	有効性	事業の効果	4	B
		成果向上の可能性	4	
		施策への貢献度	3	
	効率性	手段の最適性	3	C
		コスト効率	3	
		受益者負担の適正	3	
課題認識	公園等では、施設の管理について創意工夫のある企画や効率的な運営などにより、利用者の多様なニーズに応え、質の高いサービスの提供を図り、効果的・効率的な運営を目指す必要がある。公園施設の有効利用については、全ての施設を画一的に取り扱うのではなく、改めて個々の施設の価値や重要性を検証したうえで取り組みを進めることが、効率的なストックマネジメントに繋がると考えられる。			

二次評価	
二次評価 (所属部長)	以下の点について外部評価が必要と判断し、行政評価委員会に諮る。
意見、課題	行政評価委員会抽出事業

行政評価委員会の答申

<p>外部評価 (行政評価委員会)</p>	<p>・成果指標の数値に関し、改修工事が入ることが分かっているなら、利用者数を修正した中で増減を把握すべきである。・指定管理だから光熱水費ゼロとあるが、委託管理料と光熱水費の関係があるなら、併記するとか内書きするとか、分かりやすさがあつた方が良くと思う。・公園管理であり、事故が起これば大きな社会問題になる。必要なお金はかけてきちつと管理しなければならない。・グラウンドやテニスコート、体育館などあり、照明などの光熱費が結構いるはずだが、どれくらいか分からない。・成果指標を人数でやるのは、全然良くない。お客のニーズを具体的にシートで現有するのが、評価制度だと思う。・財政面で直接事業費を下げることはあつても、お客の満足度を下げたり、危険にさらすことがあつてはならない。</p>
---------------------------	---

経営者会議の最終判断

<p>事業の方向性</p>	<p>下記の点を見直しの上、継続する。</p>
<p>意見、課題</p>	<p>施設の改修計画を立案し、長寿命化対策を講じること。</p>